

2022 年度 第 2 回市立須坂図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 2022 年 10 月 18 日(火)午後 2 時から 3 時
- 2 開催場所 市立須坂図書館 第 1 講習室（西館 2 階）
- 3 出席委員 富沢委員、宮尾委員、竹前委員、尾島委員、坂口委員、小林委員、馬場委員、小林委員
- 4 欠席委員 小林委員
- 5 事務局 峯村文化スポーツ課長、文平図書館長、北澤管理係長
- 6 配布資料 2022 年度図書館事業報告(上半期)及び事業計画(下半期)について
- 7 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑（◇は委員の発言、◆は事務局の発言）

（1）2022 年度図書館事業報告(上半期)及び事業計画(下半期)について

◇実績報告の様式について、時系列でデータをとらえているものについては数値だけでなくグラフ化して傾向がわかるようにするとか、事業計画に対して実績がどうだったのか、こういう意図でやったらこういう結果になったとかを対比できるとわかりやすいと思うが、様式は定型なのか。

◆この様式は、市の実績報告書や監査用に作成している様式に準じて、9 月末現在の実績で作成したもの。もう少しわかりやすくできるか検討したい。

◇新たな様式の報告書を作成するのに手間取ったり大変になるのであれば、それにとらわれることはない。

◇他の市町村の図書館のことを知らないので、似たような規模の図書館と比べて、須坂図書館はどうかを知りたい。

◆同じ人口規模でも、図書館が複数あったり、公民館図書室が図書館の分館になっているなど、須坂市と比較できるぴったりの市町村はなかなかない。現在、長野市民や小布施・高山の住民が須坂図書館を利用していたり、須坂市民でも他の図書館を利用している人がいるのは、通勤や通学の都合で便利なほうを利用しているなどの理由がある。また、図書館の広域化が進んで、中野市からも、お互いに利用できるようにしたらどうかと言われている。長野市などの他市町村と須坂市とでは蔵書数や規模も違うので、単純に比較するのではなく、須坂図書館として、他の図書館がやっている方法で利用者にとって使いやすいことは取り入れてやっていこうと思っている。委員の皆さんも、他市町村の図書館を日頃利用していて気づいたことや良い情報があれば、参考にしていきたいので、教えてほしい。

◇「デジとしょ信州」の利用登録をしたので借りようとしたが、本の検索に戸惑ってしまい結局まだ借りていない。図書館の職員に検索方法を聞けば良いとはわかっているが、まだ聞けていないので、図書館まつりの期間に行われる体験会で聞いてやってみようと思う。他の委員さんは「デジとしょ信州」で上手に本を借りられているのか、使ってみての感想も聞きたい。

◇自分は、利用登録をただけでまだ借りたことがない。

◇スマートフォンしか持っていないので、電子書籍を読むのに画面が小さくて読みにくいと思った。もともと活字の本が好きなので、これから、紙の本のほうを借りて読みたいと思うが、図書館になかなか行かないときは、電子書籍は便利だと思う。

◇自分はタブレット端末を使って電子書籍を読んでいる。大きい画面で読めるので気にならない。でも、活字の本のほうが好き。

◆出版社から許諾が取れたものが電子書籍になるので、紙の本と同じものが電子書籍にもあるとは限らない。

「デジとしょ信州」で検索しても出てこない本は、紙の本で借りて読んでほしい。読みたい本が須坂図書館で見つからない場合は、職員に声をかけてほしい。閉架書庫にある場合は職員が探してお持ちするし、他の図書館にある場合は相互貸借で借りることができる。「デジとしょ信州」がスタートして 2 カ月が過ぎ、今後

も、充実させていく予定になっている。「デジとしょ信州」はアメリカ資本の企業のシステムを利用しているので、日本十進分類法とは違う配列で探しにくいという声があることは承知している。図書館まつりの期間中は、随時体験できるようにするので、本の探し方も含めて、ぜひ職員に聞きながらやってみてほしい。

◇読みたい本の内容や情報を知りたくて職員に聞くことがある。レファレンスを充実してほしいと感じる。

◆レファレンスというのは、利用者が何かを調べたい場合にお手伝いをする。読みたい本の内容を知りたいだけであれば、館内の検索機を使うと書誌情報が出てくるので、活用してほしい。21万冊以上の蔵書があるので、職員に聞いても館内の検索機でわかる情報しか答えられないことはある。職員が答えた内容よりもっと詳しく知りたい場合は、たとえば、この短編集の中にどんなお話がいくつかあるのか検索したけど全部のタイトルが出てこないからそれを知りたいなど、具体的に職員に伝えてもらえれば、お手伝いできる。

◇新聞を閲覧する場合、当日の信濃毎日新聞は閲覧室で立ったまま紙面を広げて読めるようになっているので、わざわざ外してイスのある場所まで持って行って読む人がいるので、やめるように注意してほしい。

◆当日の新聞も含めてすべての新聞は、読んだ後、元の場所に戻してもらえれば問題ないと考えている。

（２）2023年度の計画に向けて

◆来年度、長寿命化工事を予定している。休館を伴う工事は、できるだけ、6月末から7月上旬の蔵書整理のための休館期間にあわせて行いたいと考えているが、工事や資材の都合で、それ以外の期間に休館せざるを得ない場合があるかもしれない。委員の皆さんのご意見を参考に臨時休館する日程を検討したい。

◇工事日程の都合で、蔵書整理期間のほかに休館する必要があるときは、できるだけ利用人数が比較的少ない時期に休館するようにしてほしい。

◇毎月の利用人数の統計を取っているのであれば、比較的少ない月に臨時休館すればよいと思う。

◆毎月の利用人数の統計は取っている。あまり大きな違いは見られないが、参考にしたい。

◇夏休み中は子どもたちが使うので、できれば避けてほしい。

◇夏休み中は、読書室を使って自主学習する学生が多いことと、毎年、図書館での職場体験も実施されているので、8月に休館するのは避けてほしい。

◇図書館をきれいに直すために必要なことなので、いろいろ影響は出ると思うが、工事の都合で急に臨時休館することになってもしかたがないと思う。

◇休館する場合は、館内外に掲示して周知するだけでなく、ホームページやTwitterなどのSNSでも発信して周知してほしい。あわせて、近隣の図書館の休館日も掲示してもらえば、そちらの図書館を利用できると思う。

◆図書館の広域利用者もいるので、自館の休館情報のほか、近隣の市町村の図書館の休館情報を掲示するなど、工夫していきたい。